

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
見学実習		必修	1	1	通年
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
駒形 純也 他	D309	j.komagata	火曜日 11:00 ~ 12:30		
授業の目的・概要	学外実習協力施設にて、理学療法士の業務内容と役割について学び、理学療法並びに医療従事者について理解することを目的とする。学内では理学療法士を志す学生として相応しい態度、目標シート、ポートフォリオの作成方法を指導する。学外では個々の目標に応じて能動的に学び、学外実習後にポートフォリオの作成と発表によって理解を深める。				
学習上の助言	学外施設の協力によって成り立つ実習であるため、丁寧な言葉遣いや清潔感のある身だしなみが必要となる。また、実際の理学療法を見学できる機会であるため、能動的に行動することが求められる。				
教科書	理学療法 臨床実習サポートブック/著：岡田慎一郎、上村忠正 他/出版社：医学書院				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	実習内容に基づいて自己の成長を確認することができる		HSU (4)、(5)、PT (6)		
②	理学療法士の役割と業務内容を説明できる		PT (1)		
③	医療従事者としての倫理観・コミュニケーション能力について理解できる		HSU (1)、PT (3)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
<p>[学内実習内容]</p> <p>6月～7月 (5コマ) :</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床実習 I のオリエンテーションを行い、実習の心構えや注意点について学ぶ 実習施設レポートを提出する。 コミュニケーション技法や標準予防策等の実習に必要な知識を学ぶ。 <p>12月 (2コマ) :</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオの作成方法について学ぶ。 目標シートを提出する。 身だしなみの確認を行う。 <p>[学外実習内容]</p> <p>実習期間は冬季休業中の 3 日間とし、学外実習協力施設にて実習を行う。主な注意点を下記に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 実習施設の規則を遵守し、指示に従うこと <input type="checkbox"/> 予め立案した目標を達成できるように能動的に行動すること <input type="checkbox"/> 実習記録を作成し、次の日に実習指導者に提出すること(最終日の記録は指導者への提出は不要であるが、作成すること) <input type="checkbox"/> 適宜、必要な事項について予習・復習を行うこと <p>[実習終了後]</p> <p>実習終了後 (3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習の経験に基づき、実習の振り返りと実習の課題を行い、実習報告用のプレゼンテーション資料を作成する。 実習報告を各グループで行う。なお、各グループ内で日程を調整すること。 臨床実習アンケートに回答する。 					

学習課題・学習時間
<p>実習前に前期で学習した内容を復習すること。</p> <p style="text-align: right;">必要時間 (単位：時間)： 3 時間</p>

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	30	10	35	25	100
総合 能力 指標	知識・技術力	0	10	0	5	5	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	10	5	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	5	0	10
	コミュニケーション力	0	0	5	0	5	10
	取組みの姿勢・意欲	0	5	0	10	5	20
問題を発見・解決する力		0	5	0	5	5	15
評価方法		評価のポイント					フィードバックの方法
行動目標		評価の実施方法と注意点					
試験	①		試験				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	実習を行う施設の概要についてレポートにまとめる。また、各講義にて実習に関わる課題を提示し、思考力・表現力を評価する。各採点基準は授業時に提示する。			点数化して返却する。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	実習終了後に、ポートフォリオに準じて学習内容をまとめて発表する。発表方法はパワーポイント等を用いて時間は1人5分程度とする。評価内容は、話す声の大きさ、話す内容、資料の見やすさ、実習内容に基づいたプレゼンとなっているか等とする。			プレゼンテーションの評価結果を返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	ファイルに目標シート、実習前レポート、実習記録、実習の振り返り、実習の課題をまとめること。評価基準は立案した目標に整合性があること、実習の経験に基づいて振り返り・課題が実施できていること、誤字脱字がなく丁寧に記述できていること等とし、ループリックは事前に掲示する。			点数化して返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	実習中の取り組みについて実習指導者からの学生に対する評価・コメントを基に学内にて評価する。			実習指導者からのコメントを返却する。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎駒形純也、高村浩司、粕山達也、関口賢人、三科貴博、甘利貴志、遠藤悠介、大塚篤也、川内翔平、坂本祐太、関根聡美、玉木徹</p> <p>教員の実務経験：理学療法士として複数名の臨床実習指導の経験を有している。</p> <p>実践的授業の内容： 多くの学びを得るために、臨床実習で多くの学びを得るために、目標シートや振り返りシートを活用して学習を支援する。</p> <p>授業の構成： 3日間の学外実習、実習前学習（7コマ）および実習後学習（3コマ）とする。</p> <p>感染対策： ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は対面授業への参加は認めない。 ・各実習施設が定めている感染対策を厳守すること。問題がある場合は学外実習への参加は認めない。</p> <p>遠隔授業： 学内実習および実習終了後は Teams を使った同時双方型授業を行う。授業時は通信容量が無制限のインターネット回線を強く推奨する。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更がある可能性がある。</p>							